

『残暑便り』 ～後半の講座へ～



後志教育研修センター
所長 長谷川 誠

【はじめに】

暑い夏が続いております。夏季休業中にも管内の先生方は当センターにて、研修に励んでおります。6月から8月上旬にかけて前半の16の研修講座が終了しました。今年度も基本は「集合研修」で開催しています。お互いに顔をつきあわせ、各自の持っている課題や悩みを共有し、解決していくという研修を目指しています。今年度の年度当初の申込数は660名を超えており、小樽市を含む管内教職員の凡そ50%の申込みがありました。管内の先生方の研修に対する真摯な姿勢に心から敬意を表したいと思います。

【講座運営の工夫】

今年度から、講座運営で工夫している点を2つご紹介します。1つめは『アンケート』の充実です。受講前に「どのような課題をもって研修講座に臨みましたか」を書いてもらいます。そして受講後には、自分の課題に対しての達成度を5段階で自己評価してもらいます。最高値が5.0に対する講座の課題達成率の平均がでてきます。あくまでも自己の課題に対してですので、設定した課題にも個人差があります。また、自己評価の基準も高めの人であれば、低めの人にもいますので、高いから良いとか、低いからそうではないとは一概には言えるものではありません。

2つめは、『研修講座受講証明書』の発行です。講座の全課程を修了した先生に渡しています。新たな教員研修制度の導入に伴い、各先生方が研修履歴を作成する段階で活用してもらえればと思います。また、受講者には「この証明書を持って校長先生に報告して下さい」と話しています。学校長と先生方の対話の一つのきっかけとなれば幸いです。これまでに、この受講証明書を3枚もらった先生が複数人います。非常に熱心に各講座を受講し、自己のスキルアップにつなげています。

【高橋Dr.と学ぶ】

7月末に開催した特別支援教育講座では、とまこまい脳神経外科小児脳神経外科部長の高橋義男先生を外部講師として呼びし、ケース検討を行ないました。55名もの先生方が俱知安中学校の食堂に集まり、高橋先生に普段悩んでいることをたくさん質問をして、大変有意義な研修が行なわれました。

【おわりに】

これまでに終了した講座の中から、特徴的な受講者の声を挙げてみます。

- 「研修パッケージについての講座が大変わかりやすく、校内研修の進め方をイメージ出来ました。初めての研修担当となって不安だった気持ちが軽くなりました。来て良かったです」
【校内研修】 6月6日(火) 研修センター16人 課題達成率の平均 40
- 「講義から組織改善について、より明確にイメージを想像することができた。変化に向けた原案がいくつかできた。学校に戻り、今日思ったこと、考えたことを実践した結果でAとしたい」
【学校経営I-校長】 7月5日(木) 公民館中ホール31人 課題達成率の平均 43
- 「各教科の授業での活用方法や授業づくりをもっと知れたら嬉しいです。講座だけでなく、指導案バンクのようなものが増えるといいなと思います」
【ICT活用-初級】 8月7日(月) 公民館中ホール29人 課題達成率の平均 39
- 「予想以上に勉強になりました。小学校との連携の大切さと自分から動くことの大切さを知りました。この学びを子ども達に還元できるように明日から頑張ります」
【幼小の連携】 8月9日(水) 公民館中ホール38名 課題達成率の平均 37



(R5.8月)

〈高橋Dr.のアドバイス〉

